

(様式4)

校種	④ ・ 中 どちらかに○	学校番号	9	学校名	宇都宮市立陽南小学校
----	-----------------	------	---	-----	------------

## 平成30年度 健康(体力・保健・食・安全)に関する取組

### 1 健康(体力・保健・食・安全)に関する主な実態

#### (1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・ 本校の肥満傾向(肥満度20%以上)児童の出現率は、学校全体で7.9%である。その中で、肥満度が中等度以上(30%以上)の児童が半数以上を占める。また、4年男子の肥満傾向児童の出現率は19.5%である。
- ・ 「むし歯(う歯)」のない者の割合は学校全体で55.4%であり、全国平均より高い。また、低学年はむし歯(う歯)のない児童が半数以上いる一方で、未処置のむし歯のある児童が3割以上いる。
- ・ 体力については、新体力テストの本校の結果を県と比較すると、学年によって違いはあるが、男女とも長座体前屈、上体起こし、立ち幅跳び、がおおむね優れている。一方、男女とも50m走、反復横跳び、握力、シャトルラン、ボール投げ、が劣っている。

#### (2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・ 『運動することが好きか』の質問に肯定的回答をした児童の割合は学校全体で91.4%と高いものの、『休み時間や放課後、休日に自分から進んで運動しているか』の質問に肯定的回答をした児童の割合は学校全体で68%と下がり、意識と実際の間はずれがある。
- ・ 「朝食を毎日食べているか」の質問の肯定割合は94.6%であるが、「家の人と一緒に食べる」の質問には、7割の児童である。
- ・ 「好ききらいをしないで食べている」の質問には84.2%「栄養のバランスを考えて、3食食べることは大切」の質問には、98%を超えている。嫌いなものを頑張って食べる児童が増えてきた。

#### (3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

- ・ 体育の授業を好む児童が多く、全校共通の検定表に沿って、自己の目標に向かって意欲的に運動している。
- ・ ミニマム達成状況を見ると、2項目(二重跳び、10m投力)が昨年より上がっている。3項目(25m完泳、逆上がり、倒立10秒)が昨年より下がっている。達成度が50%を上回っているのは、逆上がりのみである。
- ・ 運動会や長縄大会、宇都宮元気っ子プロジェクト、南チャレなどの体育的行事に全力で取り組むことにより、友達と力を合わせることの達成感を得る児童が多い。
- ・ 火災、竜巻、地震、不審者、ミサイル等に関する避難訓練を行っているが、危機意識のやや低い児童が見られる。

### 2 今年度の重点目標

自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成

—自分の力に合った目標をもち、主体的に運動する児童・

自分の体に関心をもち、自ら健康で安全な生活ができる児童をめざして—

### 3 今年度の取組（「平成30年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

#### (1) 望ましい食習慣の育成

- ・ バランスの良い食事と健康について理解させ朝食抜き0を目指す。(通年)
- 食事のマナーや栄養素などについての意識を高める。(通年)
- ・ 教科等及び給食時における食に関する指導を栄養教諭の参加を取り入れ計画的に実施
- お弁当の日の実施(校内・地域学校園11月12月)
- ・ 個別の症状に応じた食物アレルギー食への対応

#### (2) 健康・体力の向上

- ・ 休み時間における屋外遊びを奨励するとともに、児童委員会を中心とした運動に関するイベントを企画して楽しく運動する場を設け、運動習慣の定着化を図る。
- ・ 児童の自己管理能力を高めるための健康観察を実施する。(通年)
- ・ 要管理児童が安心安全な学校生活を送れるようにするために管理体制を強化する。
- ・ 全職員がアナフィラキシー対応について共通の認識をもち、実際の場面で適切な対応ができるようにするために、学校薬剤師と連携したアレルギー研修会を実施する。(7月)
- ・ 栄養教諭や養護教諭の参加を取り入れた保健学習や学級活動における保健指導を実施する。
- 生涯にわたり健康なからだづくりができるように、体育主任、栄養教諭、養護教諭が連携して継続的な指導を実施する。
- CO(要観察歯)やGO(歯周疾患要観察者)に対するグループ指導を実施する。(6月)
- 元気っ子健康体力チェック(新体力テスト)の結果をふまえた教科体育における補強運動の継続  
持久力→8の字跳び、短縄持久跳び、○分間走、鬼ごっこ、など。
- ミニマム達成に向け、運動プログラム集の有効活用
- 様々な運動の取組みの推進
  - ・ オリンピック、パラリンピック種目へのチャレンジ
  - ・ 運動委員会主催のスポーツ大会(長縄大会)の実施(11月)
  - ・ 保健、給食、運動委員会主催のイベント「南チャレ」の実施(体幹運動、ダンス、持久縄跳び、等。)
  - ・ 「うつのみや元気っ子チャレンジ」の奨励
- 火災発生時に出火場所から正しい避難経路を選択して行動の取れる避難訓練の実施
- 竜巻発生時に自分のいる場所からどんな被害が想定されるかを考え、行動する避難訓練の実施
- 登下校時の危険箇所を登校班ごとに児童自ら点検し、危機管理意識を高める活動の実施

#### (3) 家庭・地域・関係機関との連携協力

- ・ 変容した児童の様子を学年だより・食育だよりの発行で知らせ家庭との連携を強化する。
- ・ 6年薬物乱用防止教室を実施する。(年1回)
- ・ 学校薬剤師との連携による5年喫煙防止教育及び6年薬教育の授業を実施する。(11月)(1月)
- ・ 肥満傾向の児童及び保護者に対し、食事・栄養面、運動面、健康面について、栄養教諭及び養護教諭が連携して個別指導を実施する。(通年)
- ・ 家庭と学校が健康課題について一緒に学び考える場としての学校保健給食委員会を実施する。(12月)
- ・ 家庭と学校が健康課題について一緒に学び考える場としての学校保健給食委員会を実施する。(12月)
- ・ 新体力テストの結果を通知する。
- ・ 各種検定の内容や結果について、学年だより等を活用して保護者への周知を図る。
- ・ 消防署等と連携して、保護者・教師対象の心肺蘇生法並びにAED操作講習会を実施する。(6月)
- ・ 警察スクールサポーターや関係機関などと連携し、防犯教室と避難訓練を実施する。
- ・ 教師対象の不審者対策実技研修を実施する。